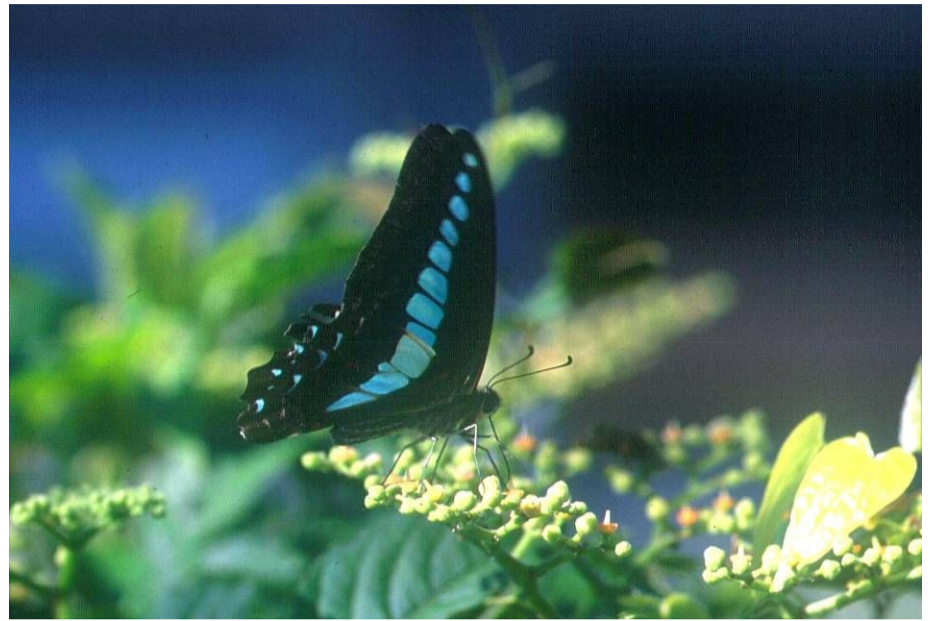


アオスジアゲハ

本州中部以南暖地の平地から山地帯で普通に見られます。食草のクスノキが植えられている都市部の公園、道路、工場の敷地付近では、特に多くの個体を見ることができます。

成虫は花の蜜を好み、春型はダイコン、トベラ、グミ、ウツギ、シイ、ミカン類等の花に多く集まり、夏型はやぶガラシの花を特に好んで吸蜜します。夏の暑い日には、オスは湿地において吸水することもあります。

幼虫はクスノキ、タブノキ、ヤブニッケイ、ニッケイなど、クスノキ科の植物の葉を食べます。1令～3令幼虫までは、黒っぽい色をしていますが、4令幼虫になると鮮やかな緑色になります。幼虫を刺激すると、背中から黄色い臭角を出して敵を驚かします。蛹で冬を越し、第1化の成虫は4月下旬頃から現れます。



富士市での現状

標高の低い市街地でよく見られます。クスノキが植えられている小中学校の校内ではほぼ確実に見られます。大淵地区でも見られますが、市街地より個体数は少ないです。しかし、スギやヒノキの暗い林の中では、ほとんど見ることができません。

アオスジアゲハを確認したメッシュ

